



UVプロテクトクリアーシリーズ

高意匠サイディングボード用セラミック系外壁保護クリアー

UVプロテクトクリアー

高意匠サイディングボード用フッ素系外壁保護クリアー

UVプロテクト4Fクリアー



PURERIDE UV PROTECT CLEAR

UVプロテクトクリアーシリーズなら

デザイン性の高いサイディングボードの
美しさをそのままに、さらに長持ちします。



どちらがいいですか？

塗りつぶしだと

せっかくの外壁デザインが台なしに。

COATING TECHNOLOGY



世界をリードする日本の自動車産業、
そのコーティングテクノロジーを支える日本ペイントだからできる発想。

日本建築仕上材工業会登録
ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

Basic & New
日本ペイント

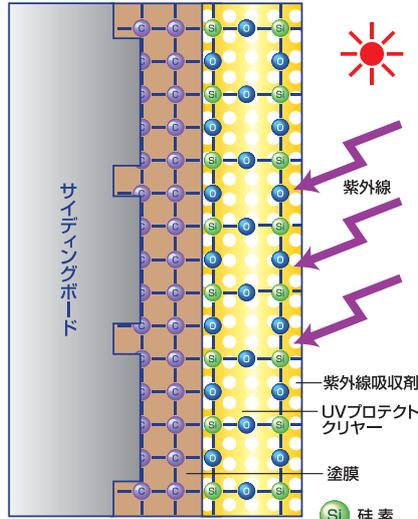
耐久性

外壁の美しさを
長持ちさせる
UVプロテクト
クリヤーシリーズ。

UVプロテクトクリヤーシリーズはセラミック系樹脂タイプとフッ素樹脂タイプ。それぞれ超耐候性を実現します。緻密で強気に結合した分子構造と紫外線吸収剤の働きで、外壁の劣化を長期間おさえます。UVプロテクトクリヤーシリーズなら、サイディングボードを新築時に近い風合いのまま、長期に維持できます。※当製品の一般名称に使用されている「セラミック系」はアクリルシリコン樹脂を意味します。

【UVプロテクトクリヤーシリーズの場合】

UVプロテクトクリヤー

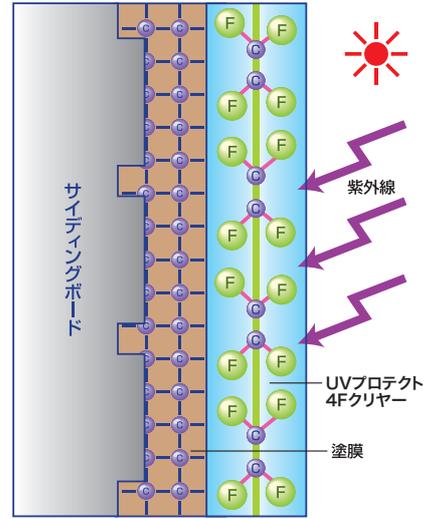


結合が切れにくい+紫外線を吸収

珪素(Si)と酸素(O)の強力な結合のため紫外線での劣化はほとんどありません。紫外線吸収剤の働きで、外壁塗装の色落ち、色あせを防ぎます。

- Si 珪素
- O 酸素
- C 炭素

UVプロテクト4Fクリヤー



フッ素効果※

4フッ化エチレンの強力な結合により耐久性が持続します。

※UVプロテクト4Fクリヤーの場合

- C 炭素
- F フッ素 (4フッ化フッ素樹脂)

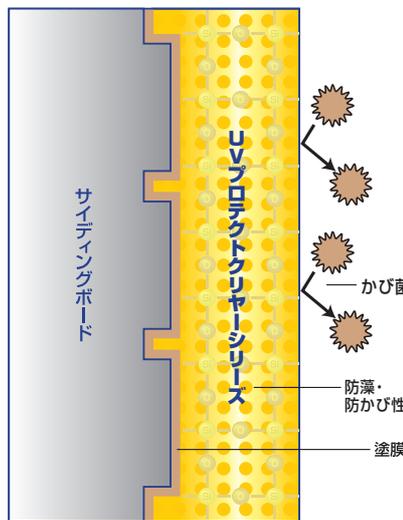
日々、紫外線や風雨にさらされている家の外壁。新築～10年以内に、外壁がきれいな状態でのUV

超低汚染性

汚れやかびに
強い外壁に
生まれ
変わります。

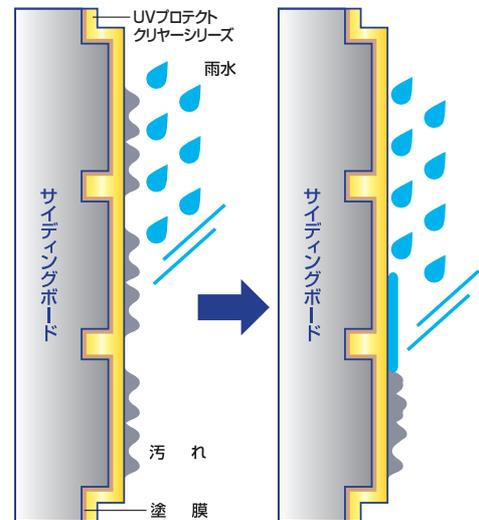
UVプロテクトクリヤーシリーズを施した外壁なら、表面に付着した汚れを、雨が浮かせて流すことができます。さらに、UVプロテクトクリヤーシリーズには防かび・防藻性があり、イヤなかび菌や藻の発生を長期間にわたり抑制することができます。それらの性能により、住宅の外観を長期間清潔に、美しく保つことができます。

【防かび・防藻性】



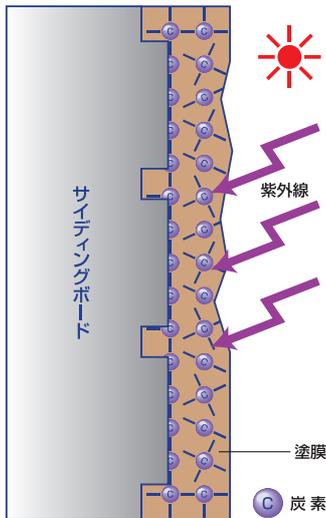
★かび菌をバリア。イヤな藻の発生も防ぎます。

【雨で汚れが浮き上がり、流れます】



★汚れの下に雨水が入り込み、汚れを浮き上がらせ、そのまま流し落とすことができます。

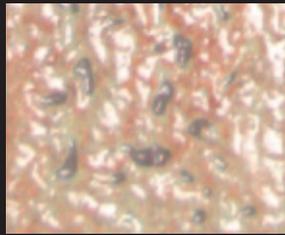
一般的な塗装の場合



結合が切れやすい+紫外線が透過

紫外線が塗装面を侵食、ひび割れや雨ジミの原因になります。

UVプロテクトクリアーシリーズ 塗装後のサイディングボード表面



※写真はつや有り2回塗りです。3分つや有りの場合は落ち着いたつやになります。

塗装前の サイディングボード表面



紫外線 (UltraViolet) とは・・・

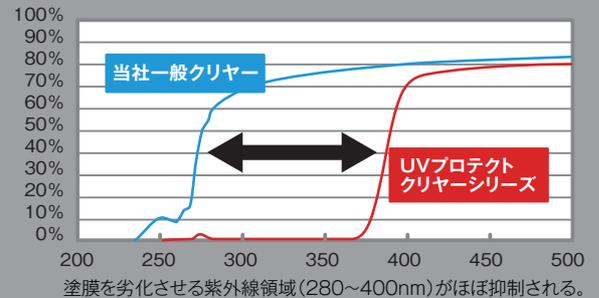
一般に紫外線とは地球上に降り注ぐ太陽光線の一種で、目で見ることの出来ない電磁波のことです。

地球上に到達する太陽光線は波長の長さにより、紫外線、赤外線、可視光線などに分けることができます。なかでも紫外線は波長の短いエネルギーの高い電磁波です。

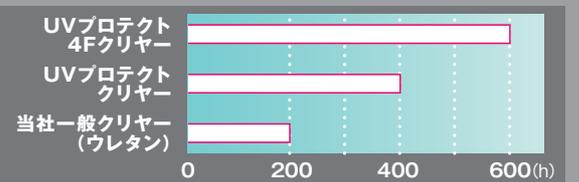
紫外線は波長の長さにより、UVA (紫外線A波)、UVB (紫外線B波)、UVC (紫外線C波)、に分けられます。UVCは大気に阻まれ地上に届くことはありません。ですからUVAとUVBが、日常意識することなく浴びている紫外線ということになります。この280~400nmの紫外線が私達の皮膚に悪影響を及ぼすのと同様に塗膜組織を破壊します。

UVプロテクトクリアーシリーズは、この紫外線領域を遮断することにより下地の劣化を抑制し、長期にわたって外壁を保護します。

UVプロテクトクリアーシリーズとの紫外線透過率比較



耐久性 (SUV) 表面劣化が認められるまでの時間



スーパーUV (SUV): メタルハライドランプ式耐候性試験機を使用した試験
放射照度: 1,000w/m² 試験方式: 蒸気加湿方式

適用下地 高意匠サイディングボード

(注) 光触媒処理のサイディングボードには適応していません。

- 光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- シーリング面は塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので塗装は避けてください。

プロテクトクリアーシリーズの使用をお勧めします。

※サイディングの劣化状況によりお勧め期間が変わります。

超低汚染性 ~雨垂れ暴露促進試験による汚染性能試験~

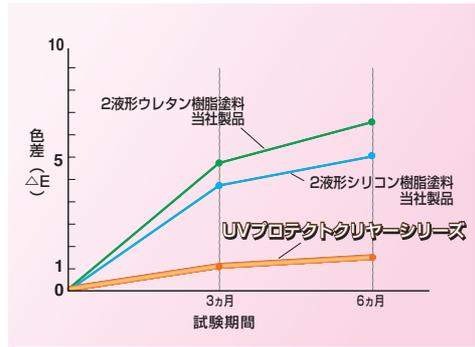
●雨垂れ暴露促進試験による汚染性能試験

屋外にて塗板を暴露し、雨筋状の汚れのつく程度を目視により測定します。試験開始6ヵ月後では、当社の一般のシリコン樹脂塗料やウレタン樹脂塗料と比べて、雨筋状の汚れが少ないことがわかります。

<超低汚染のメカニズム>

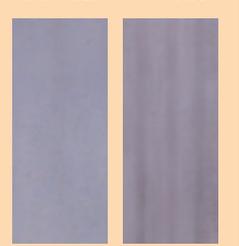
雨垂れによる汚染などを防止するためには、塗膜表面が水になじむような性質(親水性)であることが重要です。カーボン等の汚染物質には油の性質があり、塗膜表面も水をはじくような油の性質(親油性)を持っていると、汚染物質が表面に付着しやすくなります。しかし塗膜表面が親水性であると、油の性質の汚染物質は付着しにくく、降雨時の雨水が汚染物質を一掃に流すことができます。

【超低汚染性比較データ】(実施場所: 大阪・寝屋川市)



※ ΔEの数値が小さいほど、耐汚染性にすぐれていることを示しています。
※ 建物の構造によっては低汚染性が発揮されにくい場合があります。

試験開始6ヵ月後



▶▶ 施工実績

東久留米市 T様邸



▲塗り替え後 (サイディング)



◀塗り替え後(外観)

▼塗り替え前(サイディング)

▼塗り替え前(外観)

